

三中だより

令和4年5月2日(月)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和4年度第2号

大田区中央4-12-8

新年度が始まり1か月が経とうとしています。日常の学校生活が軌道に乗り始め、生徒たちも、学習に落ち着いて取り組む様子が見えてきました。さまざまな教科の授業で、学習に取り組んでいる姿に、この姿勢を継続していくときっと大きな力がつくからがんばって、とエールを送っています。先日は、土曜補習も始まりまして。自ら頑張ろうと希望した生徒が多く集まり、集中して学習に取り組んでいました。自ら学習しようという姿勢は素晴らしいと思います。こうした機会を活用することで、学習への疑問を解消して、理解を深めてほしいと思いますし、さらに、自分自身の学びの方法、課題解決の術を身に付けてほしいと思います。

さて、補習教室を実施していた食堂の入り口には、「學而不厭」と書かれた額が掲げられています。これは、論語の一節です。この書を書かれたのはノーベル物理学賞を受賞された湯川秀樹博士で、この言葉を祖父から教えられ自分自身で銘じていた言葉だそうです。では、「學而不厭」とはどのような意味なのでしょう。読み方は「まなびていとわず」と読みます。これは、学んで厭になることはないという意味です。学べば学ぶほど、「これはどうなっていくのだろう」「こういう考え方もあるんだ」と学びは広がっていくので、飽きるなんてことはないという意味になります。勉強に限らず、興味あることに取り組んだとき、知識が広がったりスキルが上達したりと、さらに熱中した体験があると思います。これも「極めていけば飽きることがない」というところでしょう。学びに、そして学校生活に積極的に取り組ん

でほしいと思います。

ところで、この言葉には続きがあります。それは「誨人不倦」です。「人を誨(おし)えて倦(う)まず」と読みます。意味は、「人に教えることは、飽きることがない」です。教える人という学校の先生をイメージしがちです。学校の先生は、いろいろな生徒と出会うため、教え方や理解の仕方も千差万別で「教えることは飽きることがない」と考えているのではないかと思います。しかし、教えるという場面は、どの人にもあることです。例えば、友達に「この問題教えて」といわれて解説しているとき、また例えば、「これを説明しなさい」といわれて自分の考えを発表するときなどです。この言葉では、相手にわかるように伝えるために自分自身がよく理解しておかなければならないということと、自分が「學而不厭」で身に付けたことをどう活用するかということが問われていると考えられます。こうした、学んだ知識をどう分かりやすく説明するか、どのように活用するかという視点は、令和3年度から中学校で実施されている学習指導要領の、「主体的に学習に取り組む態度」にもつながっています。孔子というと紀元前552年生まれと言われていていますから、2500年以上前の人です。その人の言葉・考えが現代でも通用すると思うと、すばらしいことだと思います。

「學而不厭」が掲げられている場所は、1・2年生の昇降口です。多くの生徒・保護者・地域のみなさまの目にもとまる場所です。ぜひ、ご覧いただき、「學而不厭」について、思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	5/10(火)、5/17(火)、5/24(火)、5/31(火)
鳥海 真里	5/11(水)、5/18(水)、5/25(水)
田中 典子	5/6(金)、5/13(金)、5/20(金)、5/27(金)

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

5月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
運動会予備日 給食あります。	振替休業日		運動会 弁当(準備ください)			運動会予行					避難訓練		校内研修会・地域連携支援委員会	おおたの教育研究発表会	指導訪問 6カット		PTA総会 13:30~	前期生徒総会		専門委員会		安全指導・中央委員会				子どもの日	みどりの日	憲法記念日	4カット 職員会議	

中学生になって

1年5組

中学生になって、技術や美術、部活動などの新しいものが追加されました。その中でも、部活動が一番気になりました。小学校の頃は、クラブ活動で中学校は部活動、この二つの何が違うのかが気になったので、兄に聞いてみました。兄が教えてくれたのは、小学校と違って中学校では自分達でテーマを決めて、生徒中心でやりたいです。

勉強で不安なことは、苦手な教科が多いことです。特に、国語・数学・英語・社会が苦手です。文章から式や筆者の考えを読み取るのが苦手、覚える学習や、作文なども苦手なので不安です。小学生の頃は基本宿題くらいしかやっていませんでした。中学では、習ったことを毎日復習できるようにしたいので、まずは少ない時間から始めていきたいです。夏休みの頃には、苦手な科目でも、その科目の面白さを見つけて意欲的に取り組めるようにしたいです。部活動にも意欲的に取り組んで、積極的に活動できるようにしたいです。

中学生になって、交通の料金が子供料金から大人料金になったことを知りました。中学生は、小学生とはかなり大きな違いがあり、「大人への第一歩」だと思いました。子供だけど子供じゃないという気持ちを頭の中に入れて、中学生という自覚をもち、正しい行動をとれるような人になれるようにしたいです。

中学生になって

1年3組

ぼくは、中学生になってがんばりたいこととできるようになりたいことが三つあります。

一つ目は、勉強です。当たり前ですが、小学校よりさらに難しくなります。特に自分の苦手な部分は小学校でも難しく感じたので、日々の学習や家庭学習を大切にしていきたいです。そして、苦手な部分でも学習についていけるようがんばりたいです。

二つ目は、学校生活です。中学生でも勉強が全

ではなく、大切なのは人間関係だと思います。でも部活動などもそうですが、初めての場所で初めましての人と関係をつくっていくのは難しいことです。だから、関係をつくるのにきっかけをつくっていきこうと思います。きっかけさえあれば誰でも仲よくなれると思います。なので、まずクラスでよい関係をつくれるようがんばりたいです。

三つ目は、行事です。運動会や移動教室などいろんな行事があります。どの行事も楽しく安全にやりたいと思います。ですが、移動教室、社会科見学などは他の人もいたりするので行事は楽しくやり、また行事は気をゆるめないでやるようがんばりたいです。

ぼくは、この三つを主にがんばっていき、中学生として小学生とはちがう気持ちで中学を楽しみたいです。そして、この一年を大切に過ごして二年生につなげていきたいです。ぼくは中学生になって、勉強、生活、行事をがんばっていきたいです。

大田区教育委員会からお知らせ

子どもと保護者のための教育相談（こころの輪メール相談）について



大田区では、学校生活に関する悩み、生活面での悩みに関するメールでの相談窓口（こころの輪メール相談）を設けています。相談をしたい場合には、kokoronowa@city.ota.tokyo.jp または、右の二次元バーコードがリンクしているメールアドレスにお悩みの内容を送信してください。また、生徒の皆さんへ配布した大田区公式キャラクターはねびょんキーホルダーの裏にもメールで相談できる二次元バーコードが書いてあります。中学生本人からの相談も、保護者からの相談も受け付けています。

（「子ども電話相談 Tel03-5748-XXXX」でも利用することもできます。）
※送信の際は、区から貸与されているタブレット端末以外の端末から御利用ください。



正面の昇降口に飾られています。ご来校の際、目につく位置でもありますので、ご覧いただければと思います。